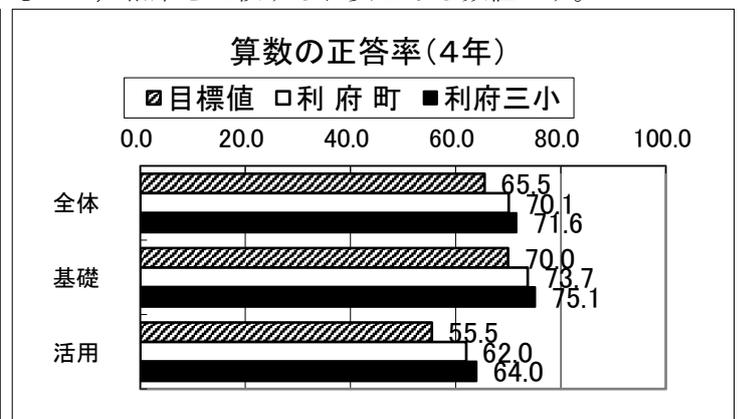
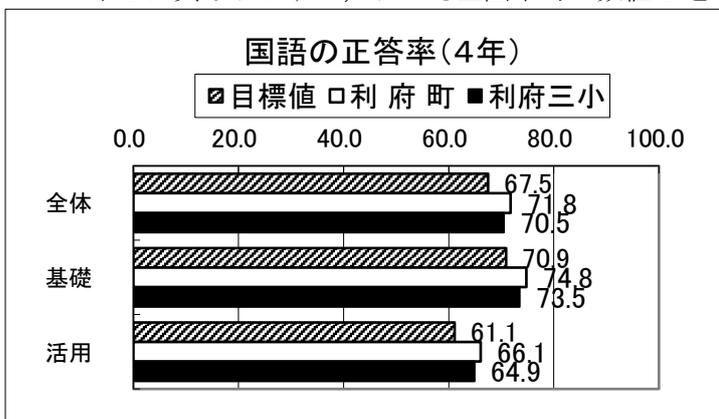


**令和3年度 標準学力調査の結果（4学年）**

12月に行われた標準学力検査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

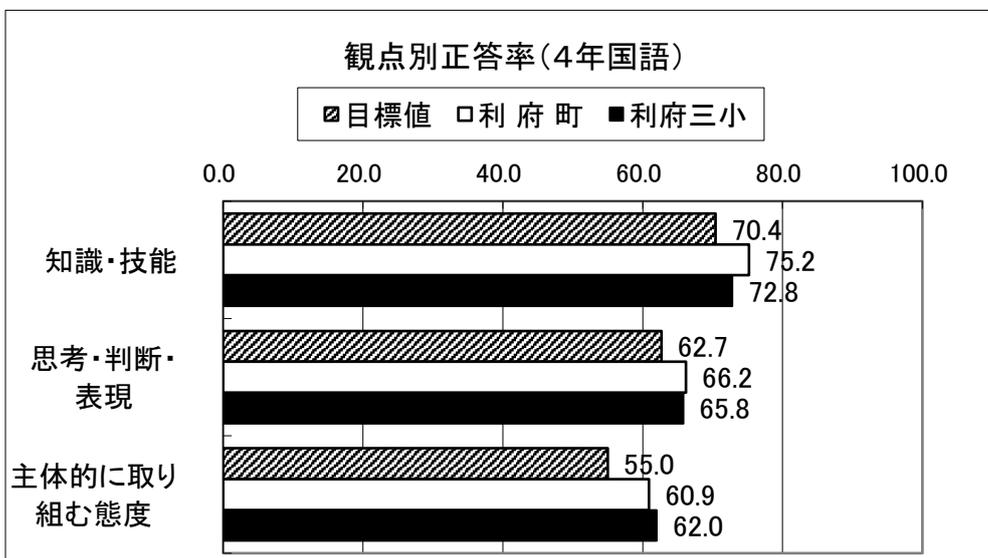
**学年全体の結果から**

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で3.0ポイント、基礎力で2.6ポイント、活用する力で3.8ポイント、目標値を上回りました。
- ・ 算数については、全体で6.1ポイント、基礎力で5.1ポイント、活用する力で8.5ポイント、目標値を上回りました。

**【国語】**      ◎ よくできていた点      ● 課題としてあげられる点

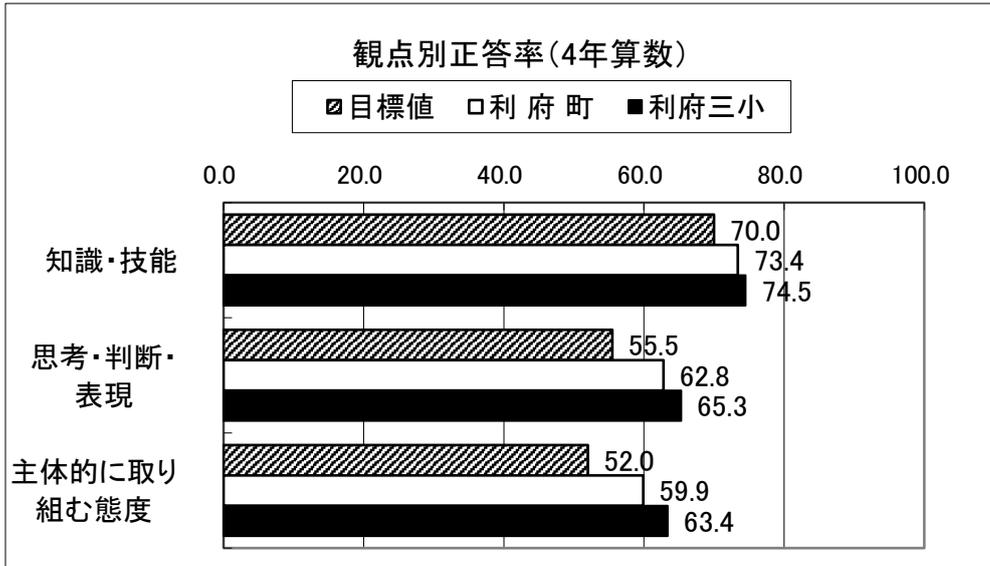


- ◎物語の登場人物について叙述を基に捉える問題がよくできていました。
- ◎問題文の条件に合った文章を書くことができていました。
- 司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して答える問題で誤答が多く見られました。
- 物語文の内容を要約する問題で誤答が多く見られました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



- ◎ ( ) を使った式の計算ができていました。
- ◎ わり算の文章問題の立式がよくできていました。
- ◎ 基準量を求める図を選ぶことができていました。
- ◎ ひし形の作図がよくできていました。
- 小数を用いて、重さの単位換算をする問題で誤答が多く見られました。
- 除法の筆算に出てくる数の意味を答える問題で誤答が多く見られました。

今後の取組

国語・文章を読み取り、小見出しを付けるなどの学習を通して、要約する力を付けていきます。

- ・話合いの学習では、意見の共通点・相違点に着目できるような学習活動を行って、まとめられるような力を育てていきます。

算数・小数と整数の性質について、復習問題を通して理解を促していきます。

- ・単位換算の問題に取り組み、基礎基本の定着を図っていきます。
- ・除法の筆算（わる数2桁）の復習を取り入れ、計算が正しくできるようにしていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100.0%になります。お子さんの数値と目標値（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

右側の「児童のみなさんへ」の文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別に正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲だった内容は十分に身につけていないことを表しています。

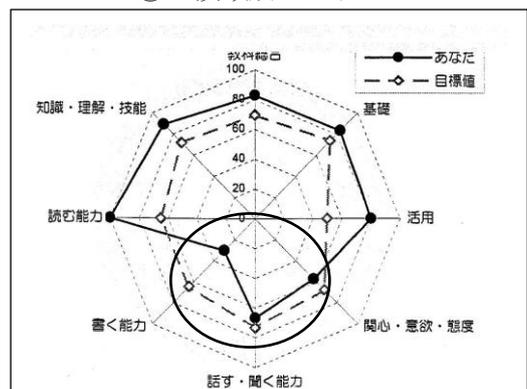
表の下にはお子さんへのアドバイスがあります。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
▲の評価であるひき算の学習が確実に身につけていないことがわかります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。